

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔27〕 東京都台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター					
指定管理者の名称	社会福祉法人聖風会	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	第一種社会福祉事業・・・特別養護老人ホーム(6)、軽費老人ホーム(1) 第二種社会福祉事業・・・高齢者在宅サービスセンター(9)、短期入所(6)他					
(2)類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター 8施設					
(3)経営状況	(27年度決算ベース) 歳入4,493,185,829円 歳出4,448,090,192円 収支差額45,095,637円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区台東1-25-5					
(2)設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3)利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日～3日を除く)8時30分～17時15分					
(5)規模	延べ床面積 21,236.85㎡のうち1,147.49㎡ 鉄筋コンクリート造地上14階地下2階のうち3階の一部 デイルーム、食堂、機能訓練室、談話室、クリーンルームなど					
(6)人員体制	20名 内訳...相談員(2)、介護職員(非常勤12)、看護職員(常勤2、非常勤1)、機能訓練指導員(1)、嘱託OT(1)、嘱託PT(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	通所介護・認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等) 介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・生活相談等) (定員 一般型デイサービス:30名、認知症対応型デイサービス:12名)					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	1,690,000	1,690,000	1,690,000	1,730,000	1,843,000
	利用料金収入	109,102,000	118,687,000	109,513,000	109,689,000	102,460,000
	その他収入	5,857,000	0	150,000	1,437,000	0
	管理経費	116,649,000	120,377,000	111,353,000	112,856,000	104,303,000
決算	委託料	1,690,000	1,690,000	1,690,000	1,725,000	1,843,000
	利用料金収入	105,655,669	103,539,453	98,998,094	96,029,516	94,671,742
	その他収入	2,169,536	5,089,989	1,500,000	6,573,443	0
	管理経費	113,175,252	107,856,128	105,603,051	102,363,067	99,042,069
	収支	-3,660,047	2,463,314	-3,414,957	1,964,892	-2,527,327
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度
定員(一般型デイサービス)		人	30	30	30	30
定員(認知症対応型デイサービス)		人	12	12	12	12
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(29年度)	25年度	26年度	27年度
利用率(一般型デイサービス)		%	81.0	83.9	82.2	80.4
利用率(認知症対応型デイサービス)		%	55.5	59.2	55.3	55.0

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

前年度に引き続き、個別ケアを重視したプログラムや基準より手厚い人材配置、家族への密な報告等、利用者や家族に対するきめ細やかな対応に取り組んだ。
利用率については、ケアマネジャーへのこまめな空き情報の周知に取り組んだものの、改善には至らなかった。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [1.8]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [1]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	基準よりも多い職員配置を行い、きめ細かなケアに取り組んだ。また、レクリエーションの内容を利用者個人の趣味や能力に応じて選択できるようにするなど、利用者個人を尊重したケアを実施しサービスの向上に努めた。
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に行われている。特に防災に対する意識は高く、毎日防災リーダー・通報連絡担当を決め、緊急時に備えた。
(3)利用者の満足度	B	利用率について、利用予定者の長期の病欠等により空きが生じたことや、日により利用希望が定員を下回ったことで低下した。利用者や家族、地域に親しんでもらい、周知に繋がるような催しを検討しており、周知に繋げ利用率の向上に努めていく。
(4)収入支出	A	介護報酬改定や利用率低下の影響により利用料収入は減となったが、管理経費の効率化にも取り組んでおり、予算執行については適正である。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

要努力	サービス水準の向上の取り組みを積極的に実施した。一方で、長期欠席者が相次いだことにより利用率の改善には至らなかった。
------------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

利用率の改善に向け、ケアマネジャーや家族に向けた情報提供を引き続き実施するとともに、地域に開かれた施設となるよう積極的な取り組みを行っていく。また、利用者により選択される施設となるよう、利便性を高める環境整備を行っていく。